

ラーニング・サポーター ♪ 8月のつばやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つばやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

<8月のつばやき♪INDEX>

- p1 沖縄県のおすすめ @T.R.(英文学専攻博士課程前期1年) 8月24日 up
 p1 人前に立つ経験 @S.N.(英文学専攻博士課程前期2年) 8月1日 up
 p2 予想外な出来事 @M.A.(人間発達学専攻博士課程後期3年) 8月22日 up

つばやき1♪ 沖縄県のおすすめ

暑い日が続いていますが、皆さんは夏休みをどのようにお過ごしでしょうか。私は、後期の予習や修士論文、今後のことを考えていつの間にか8月のほとんどが過ぎていました。9月はもう少し長期休みだからできることをしたいと思うのですが、そんな夏休みはまだどこにも行っていない私ですが、6月頃に沖縄県に遊びに行きました。ここでの体験の共有が少しでも皆さんの休暇のヒントになれば幸いです。

私はコーヒーやカフェ巡りが趣味である一方、高校生の頃からバリスタとして働いており、ラーニング・サポーターでのつばやきでもコーヒーやカフェについて度々共有してきました。今年の1月のつばやき『福岡の美しい景色』では「太宰府天満宮表参道店」、3月のつばやき『リージョナルランドマークストアで日本の文化を感じる』では「京都二寧坂ヤサカ茶屋店」と「神戸北野異人館店」というように、日本の各地域の象徴となる場所に建築デザインされ、地域の文化を世界に発信するスターバックスの店舗、リージョナルランドマークストアというものを紹介してきました。今月はその第3弾ということで、沖縄で訪れた「沖縄本部町店」を共有しようと思います。

海や山の豊かな自然が広がる場所に位置する「沖縄本部町店」は、広々とした店内に沖縄県の県木である琉球松のテーブルや海に漂流するプラスチックゴミをアート素材として活用したアート作品が壁一面にありました。琉球松を使用したテーブルだけでなく椅子や壁、カウンターや屋外スペースにも多くの木が使用されていて、地域の方や私たちのような観光で訪れる方など多くの人がほっとくつろげるような暖かみのある店内が印象的でした。また、海に囲まれた沖縄県、そして目の前にも海が広がるこのお店で、海に漂流するプラスチックゴミを活用したアート作品が飾られているというのは、改めて環境に配慮して生活することを意識させられたものでもありました。

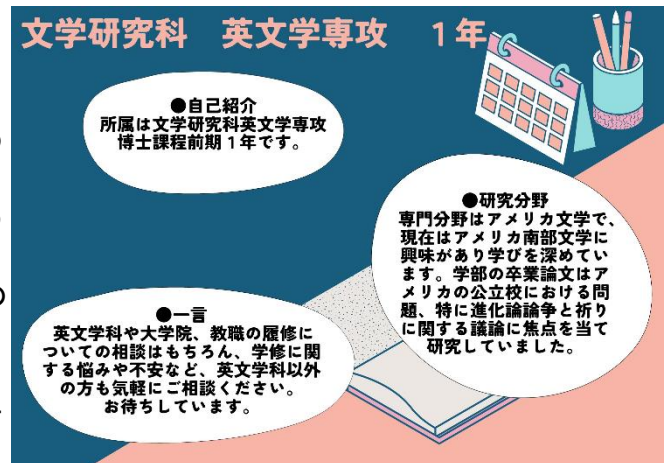
[参考 URL]

スターバックスコーヒー沖縄本部町店

<https://store.starbucks.co.jp/detail-1543/> (最終閲覧日:2023年8月24日)

つばやき2♪ 人前に立つ経験

レポート提出の締切や試験を乗り越えて、皆さんもゆったりとした夏休みを過ごしていますでしょうか。“Time flies.”(「光陰矢の如し」)とはよく言ったのもので、大学院生になってからは特にものすごい速さで時間が去っていくのを感じます。意外に思われるかもしれませんが、大学院では予習に〇〇時間使って、レジュメには△△時間…論文は…といった具合に管理しなければ1週間があつという間に過ぎ去ってしまうので、力を発揮するためのタイムマネジメントカ



が鍛えられる場所でもあると個人的に感じています。

さて、私は今期もいつも通り授業の予習・発表準備や修士論文を進めていたのですが、今年はそのに加えて4月から新しく専門学校での非常勤講師としての勤務がありました。学部生の頃に塾講師の経験はあるとはいえ個別指導塾だったこともあり、人前に立って何かを教えるというのは初めての経験でした。初回の授業は不安でいっぱいだったのですが、回を重ねるごとに授業の時間配分や生徒の反応など徐々に対応できるようになりました。大学院に入るまでは、どちらかと言えば聞き手やサポート役にまわるような性格なこともあって、人前で発表したりする機会を自分から積極的に設けなかったことが悔やまれます。まだまだ壇上で話すことに慣れたとは言いきれないので、場数を踏んでわかりやすい発表や講義ができるようなスキルを身に付けられるように、後期の授業では人に伝えることを意識して取り組んでみたいのです。

1年生は怒涛の半年だったと感じられる方も多いでしょうし、4年生は就活でくじけそうになることも多々あると思います。できないことだらけで自分の不甲斐なさや落ち込むかもしれませんが、はじめから上手にできる人はいませんのでご安心を。何事も経験だと思ってコツコツと小さな努力を欠かさず、なりたい自分像を一つずつ叶えられるように一緒に頑張っていきましょう！

つぶやき3♪ 予想外な出来事

これまで、人との関係に「予想外」が起こったことはほとんどない。〇〇ちゃんとは前に共通の話題で盛り上がりながら仲良くなった気がする、△△さんとはあまりしゃべったことがないから距離があるなあなど、言語化して考えることはないが、人に自分がどう思われていて今どんな関係性にあるか無意識に分かった気になっている。人生経験が浅いだけだと思うので自慢できることではないし、私が相手の気持ちに気づいていないだけという可能性も十分あるが。

一度というか一人だけ、私にとっては「予想外」だった友達がいる。中学生の時の同級生で、一緒にお昼を食べたり休日に遊びに出かけたりしていた。出かけた先ではおそろいのものを買って、好きなキャラクターの文房具などを交換し合ったりして、私はその子と仲がいいと思っていた。知り合っただのくらの時期だったのか忘れてしまったが、ある日突然手紙を渡された。家に帰って読んでみると、自分の真似をしないでほしいというようなことが書かれていた。真似…？意味が分からなかったが、色違いのシャーペンや同じキャラクターの文房具のことを指しているようだった。薦めてくれて気に入ったから使っていたのであって、そもそも「おそろい」が好きなんじゃないのか？という疑問が湧いたが、と同時に「めんどくさあ」と思ってしまった。当然返事も書かず、次の日「読んだよ～気を付けるようにするね」と言い、友達ときちんと向き合う(?)ことから逃げた。

手紙に対してきちんと返事をしてそのせいで何か言われて傷つきたくない、そのすべてが面倒くさいと思って「気を付けるね」とかこつつけたが、本当はかなり衝撃だった。友達が、私に真似されて不快だと感じているとは思ってもよらなかったからである(真似しているという自覚もないし…)。その後も仲良くして楽しいこともたくさんあったが、あの時友達の真意を聞けなかったせいだろうか、今でも誰かに「お揃いにしよう」や「同じの買ったらいいよ」と言われると躊躇う瞬間がある。

初めに「予想外が起こったことはほとんどない」と書いたが、思ったことを伝えてくれる友達が一人しかいなかっただけで、実は身近な人に予想外なことを思われている可能性もある。そう考えると申し訳ない気持ちにもなるが、でもまあいっか、と思ってしまうのが自分の良くないところだとわかってはいる。

✦ 文学研究科 英文学専攻 ✦
Department of English Literature

✦ 自己紹介 ✦
英文学専攻 博士課程前期 2年

✦ 研究対象 ✦
18～19世紀イギリス詩：ロマン派詩人 William Wordsworth
(その他興味関心：ヨーロッパ古典文学、西洋哲学・思想史など)

✦ ひとこと ✦
英語・語学習得のコツ、レポート・卒論の不安点、資格取得や留学の相談、人文科学への関心など、学修相談上で困っていることを一緒に考えてみませんか？お話ししたい内容がまとまらなくてもOKです◎ 思い立ったらぜひ、お気軽にお越しください！お会いできるのを心待ちにしています～◎






人間生活学研究科 人間発達学専攻
博士課程後期3年(児童学)

- 経歴
本学 家政学部児童学科 卒業
本学 家政学研究科児童学専攻(修士)卒業
- 資格
保育士/幼稚園教諭/小学校教員
- 研究分野
「向社会的行動(思いやり行動)」について研究
幼稚園や小学校にて参与観察を行い、質的分析を行っています

「進路に向けて何をしよう?」
「研究テーマはどうやって決める?」
「教職は大変かな?」など…
気になっていることはありませんか。
勉強や研究のことなど、
誰かに話したいないうときに
お気軽にお声がけください♪





ラーニング・サポーターのつぶやき (2023年8月)
ホームページ https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html
編集: JWU ラーニング・コモンズ さくら